

月瀬だより

ファイナル



平成29年11月21日 第13号

文責：月瀬小学校長 大林千代喜

もう初霜・初氷

今朝の冷え込みは厳しかったですね。外の気温が0度でした。家の周りには、初霜が降りて真っ白でした。もう冬本番でしょうか。

子どもたちも、手袋やネックウォーマーなど防寒着を着てくる人が増えました。それでも、学校に到着すると、草取りや水やり、ランニング、雲梯の練習と元気にやっています。

教室にストーブも入りましたが、寒さに負けず、元気に冬を乗り越えたいものです。

インフルエンザ・感染性胃腸炎等も気を付けたいものです。



最後の校区探検

15日(水)に実施しました。昨年から、自分たちで昼食のおにぎりを握っています。本年度は、さらに自分たちで育てた新米「うるち米」を使っておにぎりを作りました。鮭や鶏そぼろなど自分の好きなものを具に入れて、自分が食べたい分(2, 3個)を作りました。

いよいよ出発です。まず、青木熊野神社に行きました。高根政明さんから梵字やナギの木についてお話を伺いました。次に、箱谷熊野神社まで歩きました。その後、金比羅さんまで登って行きました。林の中は、日も当たらずやや寒かったようですが、元気に登って行きました。

頂上から眺める景色はとても素晴らしいものでした。いよいよ昼食です。自分で作ったおにぎりをみんなおいしそうに食べていました。

最後の校区探検でしたが、玉陵小学校でも月瀬のよさをみんなに話せるようにしっかり見たり聞いたりするようにお願いしました。心に残る行事がまた1つ終わりました。



最近の出来事から



←クラブ活動でサイクリングに行きました。11/1
→3年生は丸美屋に工場見学に行きました。11/16
←5年生は水室侯で環境教室に参加しました。11/9
→みんなで資源回収をしました。11/12



本校で人権学習公開!

6日(月)の午後から、玉名市人権学習授業実践交流会がありました。玉名市の学校から約40名の先生方が来られました。

5, 6年生教室では、6名の子どもたちをたくさんの方が取り囲んでの授業でした。子どもたちも村上先生も緊張をしたことと思います。

それでも、みんなが堂々と発表し、素晴らしい授業をすることができました。参観された先生方も感心されていました。小さな学校でも「やればできる」ことを証明してくれました。



70才のおばあさんの「手紙」

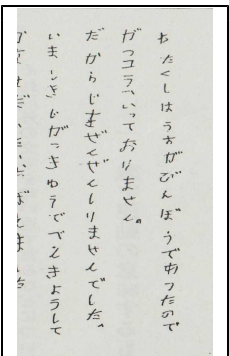
北代さんは、70才で初めて覚えた字で、お世話になった方へ手紙を書きました。見た目では字形の整っていない、決して上手とは言えない手紙。

被差別部落の北代さんの家は貧乏で、小さい頃から家のために働き、学校へ行くことができませんでした。

70才にしてやっと識字学級に通い、文字を獲得した北代さんは、その喜びを手紙の内容に書いています。

病院の受付で名前を書いたとき、看護師さんが「北代さん」と名前を呼んでくれたこと、旅館の部屋の番号を覚えて恥をかかなくなったこと、字を覚えて夕日が本当に美しいと思ったことなど。たくさんの喜びの反対には、今までつらいことがたくさんあったことを読み取ることができます。

授業の最後にもう一度、北代さんの書いた手紙を見ました。その字形の整っていない字の裏にある重みをきっと感じ取ってくれたと思います。



音楽会の月瀬太鼓で

7日(火)に、玉名市音楽会がありました。月瀬太鼓は毎年プログラム1番での発表です。みんなの発表を聞いた梅林小3年の大久保るうかさんが、うれしい感想を書いてくれました。梅林小の山内先生から、坂口先生を通して届けられました。

みんなががんばった甲斐がありましたね。

月瀬太鼓を披露するのも後わずかになりました。しっかり練習して、さらに上手になって聞いている皆さんに感動を与えてください。

いつも着付けや太鼓移動を手伝ってくださる保護者の皆様、ありがとうございました。



11月7日 火曜日
今日、音楽会がありました。
一番心にのこったのは、プログラム1番月瀬小のけん九郎太鼓です。よく聴いた太鼓の音の大きさが分かっていて、すごいなあと思いました。他の小のともありました。か月瀬小が一番心にのこりました。
(大久保るうか)